

## 今年も夏水通水が始まりました

梅雨を控えこれから夏を迎えるこの時期、群馬用水では、水田など農業に使う水が増えてくることに対応するため、毎年5月16日と6月1日の2段階で水路に流す水を大幅に増量させる夏期通水への切り替えを行っています。5月16日は毎秒1 m<sup>3</sup>程度、6月1日は毎秒4.6 m<sup>3</sup>程度増量しました。

夏期通水の当日は、早朝から利根川からの取水量を増量し、職員等が総出により、水路の水位を調節するチェックゲートの操作や増水により巻き上げられた水草などが水路に詰まらないように取り除く作業を実施しました。末端を管理している群馬用土地改良区も改良区施設を操作しました。

夏期通水は、9月下旬までの期間となりますが、群馬用水管理所では、水がしっかりと下流まで届くように施設管理を行っていきます。

なお、この時期の水路は水量が多くとても危険なため、水路内には絶対に入らないようにお願いいたします。



チェックゲートの操作



チェックゲート（テナゲート）の操作



水路の除塵作業



トンネル入り口の除塵作業